

災害と社会、地球環境に関する 広域的研究論文報告集

2026年 1月

「災害と社会」研究談話会

あいさつ 災害と社会、地球環境に関する広域的研究論文報告集 刊行にあたって

この報告集は「災害と社会」研究談話会と「人新世生存」研究会の発表をもとにまとめたものである。「災害と社会」研究談話会は、2017年度開始の日本建築学会特別研究委員会として「人為的要因による自然災害防止のための社会・技術の在り方」をテーマに研究に着手し、2020年度から2年間の第二次研究委員会を経て、2022年度から任意の私的研究会として研究討論を継続してきた。

2017年以来継続している本談話会の理念は、災害やその対策について細分化された専門分野別の知識として扱うのではなく、社会の次元を含めて広く実践的にも理念（哲学）的にも検討することであり、災害被害防止に向けて、いわば社会の在り方論を構築することである。この考えをもとに理学、工学だけでなく幅広い種々の学問体系と結んで論及することになっている。それだけに、文理融合や人文系・社会系との連携といった次元を超えて、個別の専門分野間の壁を乗り越えて、各体系との複合や融合ありきとして最初から対象を広げて考えることで旧来の学術分野にとらわれない自由な討論を行ってきた。

研究成果は2019年3月と2022年3月に建築学会の特別研究報告書60,63として刊行されたが、任意団体になって4年、ここにVol.3として研究報告集をまとめることになった。コロナ禍を機に自宅からリモート参加で居住地を超えて討論できるようになり、北海道から九州まで様々な地域の多分野研究者が一市民として自由に討論できるようになったが、本報告は、そのようなリモート討論が可能になった後の最初のまとめであり、そのおかげで充実した討論ができ、その成果を反映させることができたと自負している。

「人新世生存」研究会は、この研究談話会を母体として2023年3月から開始され並行して開催されてきた。きっかけは星野克美著『人新世の絶滅学』が2022年11月に刊行され、同月開催された地球史システム・倫理学会大会において星野克美と同室発表した西原智昭と外岡が発起人となって著者が語る『人新世の絶滅学』研究会を立ち上げたことであった。第18回地球システム・倫理学会大会（2022.11.05、慶応大学三田）は主題「人類はどこへ向かうのか？ 真のwell-beingを求めて」として開かれ、午前中に行われた星野、西原、外岡の発表3題はともに地球環境の極めて深刻な状況を浮き彫りにするもので、議論がかみ合い、司会者の山脇直司（同学会副会長・当時）はさながら企画されたシンポジウムのもようであったと評した。また、午後のシンポジウムが「well-beingを求めて」楽観的な話題であったことと、午前中の三者の発表の地球環境問題の深刻さの落差が際立っていたことも同年報に大会報告として書いていた。学会の一般発表の席上では異例のことながら、星野が84才（学会当時）と高齢であることから、自分は学会発表から引退したいが、若い世代に地球環境の危機を伝えたいので研究を引き継いでくれないかと西原、外岡に強い依頼があり、地球環境問題の深刻さ、その重要性に鑑みこの研究会を立ち上げることになった。

最後になったが、本会の研究は学術系・市民系に結集する皆様方のご理解あつての賜物であり、ここに深く謝意を表する。

2026年1月15日

「災害と社会」研究談話会 世話人 富樫 豊
「人新世生存」研究会 世話人 外岡 豊

目次

第 I 編 論文・報告	(対象を 5 系統に分けて論文報告を配置、全 158p)	通しページ
1. 自然災害系		
橋本隆雄 ; 2024 年能登半島地震による宅地盛土及び擁壁被害の状況と課題	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25hashimoto.pdf	全 08p 60-67
中林秀仁 ; 大規模災害時の避難所システム不全問題 ～公共財のジレンマから社会的共通資本による解決へ	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25nakabayashi.pdf	全 08p 68-75
神田 順 ; 建築の自然災害への対応の限界と社会のあり方	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25kanda.pdf	全 04p 79-82
2. 人為災害系		
糸長浩司 ; チッソ水俣病と東電原発災害の共通性	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25itonaga1.pdf	全 12p 83-94
熊澤栄二 ; 温暖化における二酸化炭素の寄与について—COP10 との対話	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25kumazawa1.pdf	全 12p 12-23
3. 社会系・地球環境系		
星野克美 ; The Anthropocene Realism ～生き延びに向かう叡智集結～	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25hoshino.pdf	全 11p 01-11
外岡 豊 ; 気候危機、人新世、生物大絶滅 — 地球環境危機認識下の SDGs 対応	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25tonooka1.pdf	全 19p 41-59
外岡 豊 ; とりとめない考察、人新世時代の人類倫理構築に向けて	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25tonooka2.pdf	全 05p 31-35
外岡 豊 ; とりとめない考察続報—日本における不都合な真実と抜本策	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25tonooka3.pdf	全 05p 36-40
糸長浩司 ; サバイバル・エココミュニティのデザイン	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25itonaga2.pdf	全 07p 24-30
4. 哲学系・社会系		
熊澤栄二、岡田成幸 ; 哲学と倫理の分水嶺	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25kumazawa2.pdf	全 18p 141-158
野末雅寛 ; 3D プリンタを通じた行為的直観による「制作」の回復の試みに関する一考察	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25nozue.pdf	全 03p 95-97
青木誠治 ; 財産権に内在する制約	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25aoki.pdf	全 03p 76-78
5. 市民系		
富樫 豊 ; 市民社会の熟成に向けた社会的基礎土壌づくり～足元からの積み重ね	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25togashi1.pdf	全 17p 103-119
富樫 豊 ; 地域への提言と社会への提言	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25togashi2.pdf	全 16p 120-135
大塚彩美 ; 対話と参加を文化に : アカウンタブルな市民への転回を目指して	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25ootsuka.pdf	全 05p 136-140
坂井修一 ; 建築家回顧録	https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25sakai.pdf	全 05p 98-102

第Ⅱ編 討論論文 (全 92p)

通しページ

- 岡田成幸、熊澤栄二； 全 22 01～22
自然科学を超えて：人為的要因で発露する自然災害を哲学的に論考する意義
富樫豊主催による研究談話会における思想的交流を通じた人間存在の諸相に関する省察 (1)
<https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25okada1.pdf>
- 岡田成幸、木俣信行、富樫 豊； 全 30p 23～52
建築の社会的共通資本化とベーシックハウジングの社会実装を目指して
富樫豊主催による研究談話会における思想的交流を通じた人間存在の諸相に関する省察 (2)
<https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25okada2.pdf>
- 岡田成幸、佐久間博； 全 04 53～56
19世紀後半のウィーンのカフェ文化に関する議論
富樫豊主催による研究談話会における思想的交流を通じた人間存在の諸相に関する省察 (3)
<https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25okada3.pdf>
- 岡田成幸、川崎一郎、橘 美和子、神田 順、熊澤栄二； 全 07p 57～63
星野先生「人新世」悪夢のシナリオの録画視聴の感想
富樫豊主催による研究談話会における思想的交流を通じた人間存在の諸相に関する省察 (4)
<https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25okada4.pdf>
- 岡田成幸、川崎一郎、橘 美知子、熊澤栄二、外岡 豊； 全 24p 64～87
美の普遍性と文化的多様性に関する哲学的探求
富樫豊主催による研究談話会における思想的交流を通じた人間存在の諸相に関する省察 (5)
<https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25okada5.pdf>
- 岡田成幸、川崎一郎； 全 05p 88～92
都市と地方のエネルギー消費問題を端緒として人間が求める本質を探る
富樫豊主催による研究談話会における思想的交流を通じた人間存在の諸相に関する省察 (6)
<https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25okada6.pdf>

第Ⅲ編 プレゼン論文報告資料集(パワーポイントおよび you-tube)

(1) 講演資料；ppt. 配布資料

- ・星野克美；“Anthropocene Hyper-Realism” 地球気候の臨界点超え；大絶滅脅威
人新世生存研究会 2025年12月例会(12/03) 発表用スライド 60p(元は134p)
<https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/24hoshino-kikoukiki.pdf>

(2) 講演実況資料；you-tube

- ・大嶋 仁；ゲーテ的科學の世界
研究談話会 2025年6月例会(6/02)にて、プレゼン1h+討議2h
https://www.youtube.com/watch?v=u-2XG_z0TBU
- ・馬場俊介；欧州における土木建造物について芸術と技術を語る
研究談話会 2025年4月例会(4/05)にて、プレゼン1h+討議2h
https://youtu.be/SDw1CN_Gp_g

第Ⅳ編 資料

1. 活動概要紹介；

- (1) 使命；本会目的の遂行「工学からも社会づくり」。
灯を絶やさず造りつづけ、光を津々浦々に。

(2)論者活動；本会の目的を論者自身が変容拡大を含め自由に展開。

月一回の定例会で論議(レポート)。学会大会では熱く論議。

数年毎に論文報告集作成、webにて関係者に公開

<https://st294447.static.jp/Report25.pdf>

(3)広報；世に広く伝達

HP <https://st294447.static.jp/danwakai.html>

FB <https://www.facebook.com/profile.php?id=61552129886661>

(4)結集・連携；団体レベルや個人レベルにて

人新世生存研究会；

地球レベルの環境問題の解決に向けた研究・実践の会

HP <https://st294447.static.jp/jinshinsei.html>

本会の論者が種々の団体や研究会に各自所属しての活動

→基盤共有および連携の効用

本会では(会員制度なく)各自が論者として識を持参し結集

2. 例会開催；

研究談話会の例会開催一覧(2017年～2025年11月)

2020～2021 <https://st294447.static.jp/aij/themelist20,21.pdf>

2022～2025 <https://st294447.static.jp/aij/themelist22-.pdf>

人新世生存研究会の例会開催一覧

2022～2025 <https://st294447.static.jp/aij/themelist23-,hoshino.pdf>

あとがき <https://st294447.static.jp/danwa-ronbun/25atogaki.pdf>

全2p

連絡先；「災害と社会」研究談話会

HP； <https://st294447.static.jp/danwakai.html>

「災害と社会の研究談話会」で検索すると一番にヒット

当該論文報告集への入り口も有。

FB； <https://www.facebook.com/profile.php?id=61552129886661>

Eメール； asakatsu.kamiichi@gmail.com

注意；論文・報告、ppt や pdf の資料のそれぞれについて、著作権は著者個人にあり。編集出版権は本会にあり。無断転用厳禁。